

細胞外ヌクレオチド/P2受容体の多様な機能
Role of extracellular nucleotides/P2 receptors in the CNS

講師 篠崎陽一 講師

Youichi Shinozaki, Ph.D.

山梨大学大学院 医学工学総合研究部 薬理学講座

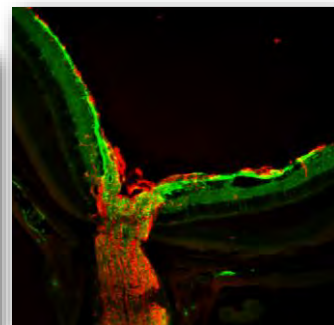
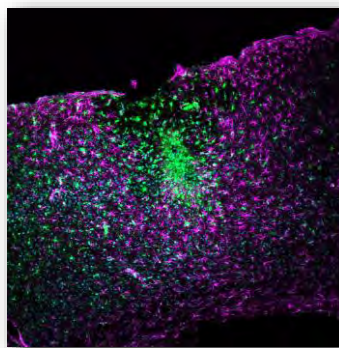
Lecturer, Department of Pharmacology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi

生物を構成する全ての細胞にはエネルギー通貨としてアデノシン三リン酸(ATP)が含まれる。ATPを含むヌクレオチドは細胞内のエネルギーとして機能するだけでなく、細胞外へ放出されるとその受容体(P2受容体)を介して細胞間情報伝達物質として機能する。P2受容体は90年代初頭のクローニング以降、様々な臓器の多様な生命現象に重要な役割を果たす事が報告されている。細胞外ヌクレオチドは、中枢神経系では特にグリア間またはグリア-ニューロン間の情報を伝達する「グリア伝達物質」として機能し、脳機能をダイナミックに制御する事が明らかとなってきている。

本講演では、細胞外ヌクレオチドおよびP2受容体シグナルの役割、特に中枢神経系における病態・障害時のグリア細胞機能調節に関する知見を中心に紹介する。

参考文献：

- Shinozaki et al. **JCI Insight** in press
Shinozaki et al. **Cell Rep** (2017)
Taguchi, Shinozaki et al. **JNC** (2015)
Shinozaki et al. **Sci Rep** (2014)
Shinozaki et al. **PLoS Biol** (2009)
Koizumi et al. **Nature** (2007)



博士課程教育
リーディング
プログラム
Program for
Leading
Graduate Schools

プラットフォーム システムバイオコース

◆日時 12月1日(金)17:30~18:40

◆場所 理農館 3F SA335セミナー室

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/sci.html>

